（1）　（明治25年3月28日第3種郵便物認可・昭和24年2月17日運輸省特別技術認第16号）　THE JOMO SHIMBUN　昭和55年（1980年）7月17日（木曜日）　第30713号　（日刊）

「あかぎ国体」が正式決定

40競技 最大の規模

理事会で全会一致

清水知事に通知書

日体協

河野謙三会長から58あかぎ国体の正式決定の通知書を受け取る清水知事＝東京・千駄ヶ谷の体育会館で

五十八年の第三十八回国体（国体例大会の名前は開催、十六日東京・千駄ヶ谷の体育会館で開かれた日本体育協会理事会で正式に決まった。冬・夏・秋の各大会を含めて行なう、いわゆる"完全国体"では、開催競技と正式競技ともに三十七、公開競技の一つを加えた四十四競技となった。最大の規模。

この日の理事会（理事総数三十）の通知書の手わたされた。五人）は全く開かず、本人出席（これを受けて知事は「正式決定の理事が出席して開かれた。本県（これを受けて知事は「正式決定の通知書を受け取りました。県民を代表して心から感謝申し上げます。この大会が二年後の国体のモデルケースとなるよう、県民の総力を結集して成功に努めます」と答えた。

（関連記事＝10面）

施設づくり着々と

宿泊、輸送 急がれる打開策

身障者が住みやすく

太田市で都市づくり推進

関越道きょう開通

本県は高崎で式典

午後四時から一般利用

「あかぎ国体」正式決定までの経過

【36年】
8月　設置の22回国体への誘致運動が起こる。
10月　22回国体は埼玉県に内定。本県は開催を断念。
【38年】
12月　国体に次ぐものとして商工観光総体を開催。これが成功裏に終わり、再び国体誘致の気運が盛り上がる。
【44年】
8月　県体協が55年の35回国体の誘致決議をする。
【46年】
12・13　県議会も35回国体の誘致決議。
【47年】
6・12　県議会が「あかぎ国体」開催県の調整を図り、国体準備室を設置することを決める。本県はこれにより、35回国体開催を断念する。
9・25　県体協は58年の38回国体開催を目指し、誘致決議をする。
【48年】
1・30　38回国体開催準備室の事務局が正式設置される。
7・2　日体協理事会で38回国体開催の申請順序が正式決定される。
9・13　38回国体準備委員会設立発起人会が開催される。
10・31　同委員会結成会議と総会を前橋市・県民会館ホールで開催する。
12・20　同委員会事務局を県庁内に設置。事務局長に山川県教育長が就任する。
【50年】
1・　県教委体育課内に国体準備室を設置する。
【51年】
12・27　第3回県国体準備委員会常任委員会を開催し、主会場競技を前橋市に決定する。
【53年】
1・9　38回国体選手強化本部を設置。本部長に三津間明助県知事が就任する。
12・26　第5回県国体準備委員会を開催し、群馬国体実施予算を決定する。
【54年】
4・6　中央競技団体の会場地現察が始まる。
5・7　県国体準備委員会を開催し、会場地決定を前橋市に内定する。
6・4　38回国体開催申請書を日体協、文部省に提出する。
7・4　日体協理事会で38回国体開催が本県に内定する。
12・11　「国体準備専門委員会」を開催し、テーマ「あかぎ国体を考える」をさまざまな角度から討議する。
【55年】
4・7　国体準備総合委員会を開催し、決定する。
6・16　国体準備総合委員会（国体事務局に改組する。
7・16　日体協理事会で38回国体「あかぎ国体」開催が正式決定される。

利根村などを大臣表彰

物価の凍結 十年延長へ

記念乗車券発売のお知らせ

定期預金

リレープラン

主婦と生活

8月号好評発売中

夏のおかず 1058種

愛と歓びの絵本

夫と妻の性愛図鑑

特別添付 夏休みレジャーカレンダー

手作りあそび

ファミリー旅行とレジャーウェア

ミセスの簡単手作り服

別冊・主婦と生活 お嬢さまシリーズ発売中

群馬バス 営業課

上毛新聞社

記者席

コツコツと地道な努力続けたい

「純血国体」で進んで

今後は総仕上げに

選手強化を重点に

横山県教育委員の話

物心両面の体制を

清水県知事の話

開催をめぐる

群馬県国体準備委員会の話

会場地・競技種目一覧

上毛新聞社説（6日）

上毛春秋

補正予算 真実を一粒

山毒舌

上毛新聞

伊香保温泉 ホテル 轟

別荘地 軽井沢

群馬バス

高崎市八島町65TEL 22―3420㈹

この印刷物の文章・写真等の著作権は上毛新聞社が保持しています。無断転載、複製及び頒布は禁止します。